
かぐやプロジェクト

椿 さつき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

かぐやプロジェクト

【Zコード】

Z4812Y

【作者名】

椿 セつき

【あらすじ】

取り敢えずは仮投稿です。

昔に考えたお話で初心者なので文章が下手なのは仕方なしです。

取り合えず指摘されながらなおします。

昔昔、地球よりも遠く何億光年も離れた星に地球人と同じような人種が居ました。

その星では、地球人が牛舎を乗り物にしてるのに対し、エアーカーと言う空飛ぶ車を乗り回したり、何億光年離れた地球へバカنسに来る人々もいました。

そんな近代的な星のメディアは、あらゆる事をやりつくし、番組のネタに困っている構成作家達が失業すると言つ状況に陥っていました。

その中で、ある、売れっ子構成作家がとても斬新でユニークな番組を考えました。

ですが、その番組には多大なお金と素晴らしい協力者が必要でした。

そこで、構成作家はまず、スポンサーを探す事にしましたが、スponサーは簡単に見つかりました。

この星の食品を扱う大手企業のかぐや食品が構成作家の番組に多大なスポンサー料を支払ってくれる事になりました。

そこで、次に構成作家は協力者を探す事にしました。

ココで、役者じゃないの？と言う突込みをされた方も居ると思いますので簡単に説明しましょう。

構成作家が考えた番組は簡単に言うと、子供を、バカנסの有名地の地球に14年間現地人に育てさせると言つドキュメンタリー番組で、いかに現地人に気付かれずに14年間撮影するかという番組でした。

なので、協力者は子供を身ごもつてる妊婦なのです。

勿論自分の子供を14年間も他人に預ける事になるので、それなりの礼金を用意するためにスポンサーであるかぐや食品を探し当たったのでした。

そう、謝礼は5億円！

そんな中、そのプロジェクトの仮の名前と共に協力者を集めるオーディションが始まりました。

「ばりタイトルは、仮かぐやプロジェクト！」

タイトルは、かぐや食品の名を大々的に宣伝するために社名をタイトルにすると何とも露骨な宣伝活動なんでしょう汗

オーデションには、数千人の人間が参加しました。

オーデションの参加条件に夫婦で参加と書いてあつたので、その日、無断で会社を休むサラリーマンが続出し、ニュースで取り上げられました。

ちなみに、バツチリーニースに顔が映つてしまつたリーマンの給料はしつかり削減した会社の数も三桁の数字をたたき出しました。では、オーデション会場ではどのような面接が行われてるかと言つといたつて単純な理由かつスピード一に進められていました。

あまりの進行の早さに毎にはすでに半数近くの人間がオーデション会場で不合格通知を持ちながら納得いかずスタッフに食つて掛かつてる夫婦や、会社から電話でクビ宣告や減給宣告に泣きつく父親の姿が多く見られたほどでした。

さて、問題の選考理由ですが、美男美女の夫婦という簡単かつハードルの高いものでした。

構成作家曰、未だ見る事の出来ない子供なので父親と母親で判断するしかないが、不細工な夫婦より美男美女の夫婦の方が、子供も可愛いはずとの事でした。

そこで、数千の夫婦から最終選考に残つた夫婦がたつた4組でした。

そして、その内の二組は、子供が明日にでも生まれるのではないかと言つ緊迫した状況にある妊婦でもう一組は、実は妊娠すらしてないと言つより想像妊娠をしてるカツブルで、

違う意味での妊婦でした。

そこで最終的に残つた夫婦は一組で出産予定日は、2ヶ月後と丁度

都合が良いと、いう事で、この鈴木さん夫婦に決定しました。

さて、決定した夫婦には大金が入る事になつてるので夫婦の身の安全を考慮して当選夫婦はマスクミ完全シャットアウトで会場は閉会いたしました。

勿論最終選考に残つた夫婦達に裏金を渡すのも忘れませんでした。さて、プロジェクトはどんどん進行していきます。

夫婦立会いの元地球のどの地方の現地人に子供を預けるかを決めなければならぬのですが、鈴木さん夫婦の外見からして、地球の日本と言う国が良いという結果になつたので、

鈴木さん達には、その中でどの様な人に預けたいか事細かにアンケートを取り、そして、コンピューターにデータを打ち込みリストを作成する事になりました。

勿論コンピューターには、インテル入つてる！

コア-i7で情報処理したので一億人近く居る国民もすんなり1時間以内に処理できました。

その中で、三組夫婦リストが出ました。

一組目は、子供居ない暦12年42歳夫41歳妻の夫婦、佐藤さん！

二組目は、子供居ない暦5年妻は不妊症！の一人とも28歳伊藤さん夫婦！

残る三組目は、子供居ない暦40年！ここままで行くと居ない暦とかの問題じやないだろ！汗夫婦、夫85歳 妻82歳の田中源蔵、民子、夫妻でした。

そこで、構成作家は鈴木さん夫婦にお好きな夫婦をお選びくださいとコンピューターのボタンを指差して言つた！

「佐藤さん夫妻ならF1ボタン、伊藤さん夫妻だったらF2ボタン、そして、何かの間違いだと思うけど一応リストに入れます田中源蔵さん夫妻だったらF12つてかこれ端に寄せておきますんボタンを押してください。」

「あーそうそう、ちなみにボタンと番組がリンクされてるんで、押

した時点で番組に告知されますので失敗は許されませんよ。その為のF1-2なので。」

「では、夫婦でじっくり話し合って決めてください。」

暫く、鈴木さん夫妻はお互い話し合い、じつやら一組田の佐藤さん夫妻に決めたようだ。

理由として、長い間子供が出来てないので他人の子供でも大事にしてくれそうだし、夫婦の顔が優しそうだからと言う理由だった。そこで、夫がボタンを押す事になり、「では、ボタンを押します！」

その時、そばに居たお菓子大好きA D伊藤君が部屋の緊張感と暑さに耐えながら洪水のような汗の湖と言つ自分の領域を広げてる最中だった。

旦那の鈴木さんは気が付かず、A D伊藤君の領域を侵してしまい、その代償に鈴木君の滅多に発動される事の無い鈴木君の特殊能力が発動した！

その特殊能力とは汗で足を滑らせると言ついかに自然かつ、こつけいな能力であつたが、効果は抜群だった！

見事に足を取られた鈴木さん、ありえないF1-2のキーをしつかり人差し指で押し込んでいたのであった。

その瞬間画面には、田中源蔵さんと民子さんのあるないくらいの笑顔の画像が写っていたのでした。

そんな光景を他人事の様に鈴木さんの奥さんは我を忘れて眺めていたのでした。

さて、とうとう出産一ヶ月前！

前回の劇的な旦那のドジぶりに幾度無く夫婦喧嘩を繰り返した事が・

構成作家は、絵的に面白いから良いけどなどと捨て台詞を残し番組がどんどん進行していく姿を夫婦そろって呆然と見守る事しか出

来なかつた。

さて、今回は子供をどの様にして田中源蔵夫妻とのコンタクトを取るか話し合いに参加する事になつた鈴木さん夫妻。そこで田中源蔵さんの職業に注目する事になった。

田中源蔵さんは京都では有名な竹の子堀の達人で、彼が掘つた竹の子は傷も少なく市場では高値で取引されているらしい。

さらに言つなら、彼の竹の子は主に貴族が口にする事しか出来ないくらいの高値が付くらしいがそれは、彼の知らない所の話もある。

なので、田中源蔵さんは自分の知らない所でかなり有名な人物らしい・・・

竹に目を付けたスタッフは、子供を一次マイクローナ化し、竹の節に金の発光材と共に入れることに決めた。

勿論発光材は人体に無害らしい。

そして、鈴木さんの子供が大きくなつたら、源蔵さんの裏世界の地位を利用し、源蔵さんをお金持ちにさせる計画もしつかり練られていたのは言つまでもない！

源蔵さんの裏世界の地位を知つた鈴木さん夫妻は少しほつとしていた。

さらに、言つなれば夫は妻の暴力が少し和らぐかもしれないという理由でも安堵感が沸き始めていたのは言つまでもない。

なにせ、あのうつかりF12事件から妻は妊婦と言つ盾で夫が手を出せないのを良い事に殴る蹴るの暴行を働いていた。

しかも、会社にしつかり通えるように打撃を与える箇所は服で隠れる箇所のみと言う徹底ぶり！

夫は会社のトイレで一人涙を流すことも一度や一度は当たり前状態であった。

プロデューサーがついでに調べた資料によると、一組目の佐藤さん夫妻は、実は子供に暴力を働き近所の人たちが佐藤さんの子供を孤児寺子屋に預けていたのであつた。

一番目の妻は不妊症伊藤さん夫婦は、かなりのおタッキー振りで子供を作る作らない以前の問題で毎日アニメやゲームで忙しく、夫婦間の会話もチャットだつたりすると言つ近所から距離を置かれる夫婦だと判明した。

こうなると、なんだか田中さん夫妻がまともで有力候補なんじゃないかと妙な説得力が出てきた。

その夜の鈴木さん宅では家族会議が開かれていたと言つても一人しかいないので珍しく妻が暴力を振るわない夜だつたと言つだけの事がだが

夫は暴力は辞めるように説得に入つていた。

そのカツ「たる理由はもちろん今日の結果を知つたからである。

そして、妻も納得し、夫は何故暴力を?の質問に妻はマタニティーストレスよ!といかにも、もつともらしい理由をさらつと言つてのけた顔に夫は恐怖していた。

時はソロソロ出産間近に迫つた頃最終確認と出産前の健康診断とさらにはお腹の子供の健康チェックのため病院へと鈴木さん夫妻は丁V関係者と一緒にでかけていった。

そこでお腹の中の子供が男か女か確認してから番組のタイトルを決める事についていた。

なぜなら、ほぼタイトルは決まつていたからである。

かぐや食品の「かぐや」と言う文字はスポンサーの意向で使わなければならぬので、その文字に続く言葉が姫か王子しか良い案が出なかつたからである。

つて事で、男なら「かぐや王子プロジェクト」になり、女だったら「かぐや姫プロジェクト」になるというとっても安易な案であつた。

検査の結果女の子と判明し、タイトルが決まった。

後は、出産を待つのみとなりその日から、取材陣と医療陣が鈴木さんの家に泊り込むようになつた。

そして、出産の時を迎えた。

出産は無事行われ、かぐや姫はバカンスで有名な星地球へと送られ、マイクローン化された子供が竹の中に入れられた。

そして、取材班は地球の大気圏外から衛星カメラでその様子を逐一取材するのであった。

「○○からひは田中源蔵さん視点でお送りいたします。

今日もええ天氣、竹林の様子でも見に行くかいのあ～
今年の竹の子はいつもより質がええ気がするのあ～

今年はちつたあ～高値でうれるかいのあ～

・・・・・「ん」・・・・

なんじや？

光つとるわい

なにか、おつかないから避けてとおつかいのあ～

「つっ！――！」

「あんれまあ～蜂に刺されてしもーたわい」

「ん？」

体が動かん！！

ななななんじや？

体が勝手に動いとる！

わしナタ持つて光る竹にむかつとる・・・・

やめれえ～～～～～～～～

その竹怖いんじや～～～

切りとおないわあ～～～～

なんでじや～～～～

すぱー-----ん！

竹は綺麗に切れてしまった。

だが、切つた竹は源蔵さんに向かつて倒れてくるではないか・・・・

これにビックリしたのは大気圏の向こうからコントローラーで源蔵さんを操っていた取材陣の一人全国アクションゲーム大会3位の実力の持ち主

AD大久保君！思わずコントローラーを手放してしまい、源蔵さんの体が自由になりました。

実は源蔵さん若い頃は何かと剣術にはまり、新陰流免許皆伝の腕前だとか・・・

持っていたナタで目にも留まらぬ速さで竹を4分割に切り裂き難なく危険を回避してみせた。

そんな姿にスタッフ一同呆然・・・

さて、源蔵さんの視点に戻つてみると源蔵さん、どうやら竹の中に赤ん坊が居るのを発見！

「あんれ～まあ～」

「うまく収まるもんやなあ～」「だれじや？こんな酷い事すたんわあ～」

「この子貰つてええやろか？」

「とりあえず連れて行つて、ばーさんと相談すっべか！」

（源蔵さん笑）

「ばーさん！」

「あたあしゃ爺にばーさんつて言われる年じゃないよ！」

「いや、いい加減その変なプライドすてねえ～が？」

「な～にいつとるがあ～女はいくつになつても女なんだっぺえ～無粋な爺にはわかんねえ～」

「ま～ええわ、それよりこの子みてけろ！」

「・・・・・じーさん・・・・あんた！誘拐してきたか？・・・・

（こんの～罰当たり！）

「痛つ～ばーさん違うちゅ一ねん！」

「ばーさんつて呼ぶのお辞め！！」

「いや、今そんな話どうでもええやろ汗」

「うつさいわい女は・・・」

「じめん民子さん、謝るから話きてけりや〜

「解ればええだ！」

「Jの子はなあ～アレが何で何がこれだつたわけだあ～」

「じーさん、一回天国体験入学してくつか？」

「民子さん・・・」じめん・・・誤るからその木刀下ろしてくんる・・

・汗

この子なあ～竹の中におつたんよ～何だかな～小さいベえ～?

言われてみれば、かなりスマートサイズ!

「ほほ～この子は神様が下さつたのかいのお～?」

「とりあえず家でそだてるべえ～かいのお～?」

「ええが、乳は出んぞ!」

「知つとるわい! 散々乳すつ とろお～が!」

「あらん、じさまつたらん?」

「ま～あれじや～! 愛してんべよお～民子さん」

「わたしもだあ～じさま」

その夜、スタッフ一同夜つなされ続ける事になるのでした。

次の日は思いつきり目覚めが悪いスタッフ一同でした。

次の朝、朝からラブラブな源蔵と民子を観察しているスタッフは吐き気を催しながら観察を続けます。

そして、一人のADがある重要な事を思い出し言葉にしました。

「もう言えば、マイクローン化解けるの今日じゃなかつたっけ?」

そう言えば、昨夜の源蔵と民子の夜の生活を見せられたスタッフ一同半ば人生を捨てざるを得なかつたとは言え、

本来の目的を忘れてしまつてブルーになつてる場合じやなかつたのです。

マイクローン化が解けると赤ん坊は本来の大きさに戻るので、突然大きくなつた子供をみたら、源蔵も民子も心臓発作でも起こりかねない！

そんな、宇宙の外の心配をよそに、源蔵が赤ん坊を見てなにやら言
んで民子を呼んでるではないですか~

「お~い、民子やあ~来てみい~」

「なんだい? 源蔵さん、 昨夜の続きだつたら朝からできねえ~べー。」

「・・・何言つてるだ?

赤ん坊みてみるや~」

「あんれ~まあ~こりゃ~どーしたことだべ~! つてか大きくなつて何だか得したなやあ~!」

「民子・・・お前もそう思つたかあ~? んだなあ~ラシ キーだわやあ~」

いいんかいそれで!

と語の地球の外からの突つ込みは勿論匪くはすも無く時は過ぎていくのです。

さて、物語はアイデアの都合と文字数の都合で時間が過ぎてしまます。

赤ん坊だった子供も既に大人の女の色香をかもしあし始めた頃でした。

女の子も12歳になり、娘の名前も色々な都合上「かぐや」って事にしました。

それは、毎夜源蔵さんに全宇宙睡眠学講師会実力NO1教師の飯田さんが「娘の名前は、かぐや」とマインドコントロールしたおかげでもあるかと思われます。

ま~そんなこんなで、かぐやも12歳、その美貌は両親譲り! 美男美女の子供はやはり美女だったと言つ事でしょう。

そして、かぐやプロジェクトの視聴率も40%をたたき出すモンスター番組へと成長し、かぐや食品の株価も上りまくり状態です。

そう言えば鈴木さん夫妻ですが、どうなつてるのでしょうか?

結構どうでもいい事なんですが、ちゃつかり一人目作ってました。
しかも、娘が稼いだお金で家を買い、優雅に暮らしてました。
娘の事なんて忘れてるのかと思つたところしつかり番組はチェック
してゐらしいです。

二人目の息子にこの子がお前のお姉さんだよ！このお家に住めるの
もお姉さんのおかげなんだから帰つてきたら感謝しなさい！

としつかり子供に言い聞かせてる所は幸せ家族計画ですね。
では、心のシコリも取れた所で本題に戻りましょう。

12歳のかぐやは、京の都でかなりの有名人でした。

それは、彼女の美貌のせいでもあり、京の人々は彼女の美貌を称え
千里を走る美貌と彼女に憧れの目を投げかけました。
そんなこんなで、そんな美貌の持ち主であるかぐやは貴族の独身連
中がほつておくわけが御座いません。

毎日のようにかぐやの家へ求婚におどづれる貴族が後を絶たないほ
どでした。

ですが、かぐやはのらりくらりかわし続けていました。
その頃かぐやには、ある疑問があつたからです。

それは、自分は源蔵と民子の本当の子供なのだろうか？
まゝもつともな理由ですよね。

この源蔵と民子の年齢で子供が作れ無いと言つ疑問はむらむら無か
つたが

この二人の無限とも思える体力とテンションに自分は付いていけな
いと言う孤独感を感じつつ

求婚に来る貴族はダサダサだしい～～

あたし、本当にココの家の子供かな～～ってえ～～
感じ？

そんな疑問を感じながらある夜の事です。

かぐやは何時もの様に携帯の出会い系サイトの桜のバイトをしてる
時に、頭の中でかぐやだけに響く声が聞こえました。
それは、何だか懐かしいような感じのする声でした。

だって、鈴木さん家族なんですもん。
つて事で、家族初の会話です。

「かぐや・・・」

「誰?」

何処から話してるの?」

「私は、お前の本当の父親で、今宇宙からお前に話しかけてます。」

「宇宙つてなに?」

「あああ～そだね、宇宙つて言つても解らないよね～え～と・・・

・
「そうだ、今夜空にお月様が見えるだろ?」

「ええ見るわ～今日は丁度満月ね!」

「そうそう、その月からお前に話しかけてるんだよ～

「え? 月から?

貴方は月に住んでるの?」

「ん?・・・まあ～そんな所かなあ～」

「それで、月にすんでる人が私に何の用事があるの?」

「いや、最初にお前のお父さんと言つたけど、あれ、かなりマジメ

だからね!」

「まじで? あたし月生まれなの?」

「あ・・・あああ～まあ～そんなとこだ。」

「つてかあ～何で今頃出てきたわけえ～?」

「いや、まー色々と都合があつてお前に話かけられなかつたんだよ

大人の都合つてやつだな～」

「なるほどね～都合の良い言い訳見つからないから適当に答えたつて訳ね!」

「いや、何でお前はそんな事言つんだ? 親の顔が見てみたいわ!」
「つてかあんたなんでしょ? 私はあんたの顔知らないけどさー...
わざわざ捨てた子供に説教しに話しかけに来たの?」

「いや、・・・」めんなさい・・・かぐやちゃん、そんなに怒らないでよ

パパな～今すんごくお金持ちになつたんだよ～それで、やつとお前を迎えるに来れそうなので

今のうちに連絡をしておこうと思つてな～」

「マジで？じや～さー何時来れるん？」

「ん～色々申請手続きがあつてな～お前が14歳になつた誕生日に迎えに行くから

それでな～何だかその話を丁々局の人が聞いたたら、協力してくれるって言うんで、迎えに行く時はちょっと取材付かもしれんが、

それは、我慢してな」

「うん、わかつた～

だけど最近なんか、私に結婚申し込んでくる芋が増えてうざいのよ

どつにかカワシテいるけど誰かにさらわれそつだわ～特に石作皇子と庫持皇子と右大臣阿倍御主人と大納言大伴御行と中納言石上麻呂がうざいわ

「んじや～石作皇子には仏の御石の鉢、庫持皇子には蓬萊の玉の枝、右大臣阿倍御主人には火鼠の裘、大納言大伴御行には龍の首の珠、中納言石上麻呂には燕の子安貝を取つてきたら結婚してやると言つなさい。」

「なんか、どれも噂で聞いたことあるけど伝説の宝物ね～解つたわ～そう言ってみる」

次の日の夕暮れ時にかぐやは、例の5人を集め父のいつた言葉を伝えた。

期限は自分が14歳になる誕生日まで言いそして、5人はそれぞれ旅路の支度に家に帰つていった。

そして、数週間が過ぎた後に石作が仏の御石の鉢を持って現れた。そこで、人間国宝陶芸一筋50年源蔵との将棋戦績850勝920

敗が偽物と判断し、ばれて敗退！

阿倍はそれは燃えない物とされていていたのに燃えて自分で今まで燃え尽きてしまった。

大伴は嵐に遭つて諦めママに泣きつをあわなく敗退。

石上は大炊寮の大八洲といひ名の大釜が据えてある小屋の屋根に上つて取ろうとして腰を打ち、ぎっくり腰になり断念した。

庫持はとこりと探しに行つたつきりついには戻つては来なかつた。

家来の話によると皇子は恐るしく方向音痴らしくお供もいないと家にも帰れないらしい。

そんなこんなで月日はあつといひ間に過ぎて、かぐやの14歳まじかのある夜の事でした。

かぐやが、源藏と民子に話があると聞こ家族会議を開き始めました。

「源藏、民子良く聞いて！」

「なんじゅ？ってか親を呼び捨てにするんじゅない！」

何回いわせるんじゅ！わしの事はパパ～んと呼べといひが～！」

「そんな気持ち悪い事言えるわけないだろ！」

つてか、私、あんたらの本当の子供じゃないし〜」

「何つて事言うの！私のこともママ～んつて呼びなさい！」

「つてかそつちかい 汗 かなりの時間差の突込みねえ〜！」

「ついでに言つけど、お前は私がおなかを痛めて生んだ子よー！それ

こそ80過ぎの私が生むにはかなり辛かつたわ！」

「ついでなんかい！」

つてかマジマジメに聞いて！」

「・・・お前それかなり寒い親父ギャグじゅぞ！」

マジマジメつてそんなギャグセンスじゅ京の町では暮らしていくんぞー！」

「おこい源蔵ギャグじやないから汗

もひ、言つわ～あたし～～14の誕生日に元に帰るか～～」

「ん？そつか～んで何時帰つてくれるんじや？」

「つてか修学旅行とかそんなんじやないから汗

本当の父親が迎えにくるらしいわ。

親父じうやら月に住んでるらしいわ～」

「そんな、迎えに来る言われて、はいわ～ひですかって歸めりれると思つてゐるのか？」

わしらの老後の世話誰がみるんじや？」

「せつちかよ汗

そういう話は、親父と話付けてくれ！」

「良し解つた！」

「つてか何か簡単に家族会議終了しちゃつたな～10分しか経つてないわ汗」

そんなこんなで、かぐやの誕生日の前日の夜に父親から連絡がありました。

「もしもし～かぐや元氣してた～？」

「何でそんなフレンドリーなの？」

「いや、まあ～父親だし、駄目？」

「ま～良いけど・・・」

「よかつた。

それで、明日迎えに行くけど時間どうよつつか？」

「ああ～何か源蔵が話したいって言つてるよ～」

「そつか～一応かぐや育つてもうつたわけだし、お礼も言いたいからそ～だな～

「夜にするか～？」

「わかつた～源蔵に話しておくわ～」

なんとも、長距離電話みたいな会話ですがま～それはあれなので汗

つて事で時間も次の日の夜、かぐやお迎えの瞬間がやつてきました。

源蔵と民子は一張羅を着て父親を待ち構えていました。

まだかまだかと源蔵はうろうろと廊下をつらついていたら突然月から大きな鳥のような物体が現れました。

「ねえ～源蔵、あれじゃない？」

かぐやが指差した先に鳥のような影がこちらへ向かつて、どんどんその存在が大きくなつてきます。

そして、家の前の空き地まで来た所で突然鳥のような物体から人が数人降りてきました。

その中に、かぐやに面影が似ている男性が一人女性が一人いました。

かぐやは直感でその一人が自分の家族なんだと理解しました。

そして、父親に駆け寄ろうとした瞬間源蔵に腕をつかまれ、勢いをそがれ少し後ろによろめきました。

その瞬間源蔵は持っていたナタを、かぐやの首元に当てる、叫びだしました。

「おまえら、何処の銀河系の奴らだ？

俺を捕まえに来たのか？俺が金庫破りの源蔵だつて何時ばれた？」

「えええええ～！！」

全員が予期せぬ展開にビックリ！

かぐやにいたつては何が起きてるかまるで理解できない様子。

民子はと言うと今まで愛嬌があつた顔が突然平氣で人を殺しそうな冷たい目に豹変した。

「お前らあたし達が、銀河盜賊青い牙と知つて來たんだろ？」

なんだい、そのＴＶカメラ、勝手に写すんじゃないよ！」

「源蔵・・・民子・・・なんの冗談なの？」

かぐやが苦しそうに源蔵の顔を見ながら話しかけた源蔵の顔はただ、見たことも無いような冷たい微笑を見せるだけだった。

「おまえら、宇宙警察を呼んでるんだろ？」

勝手に出てきたらこの女殺すからな！

いいか、こちらの要求にまず応えてもうつぞー・

勝手な事するなよー・

民子は何処に隠してきたのかと言つほど大きなバスター「ランチャー」と小型のレーザー銃を手にして、源蔵にレーザー銃を手渡した。

「おら、まずあんた達が乗つてきた宇宙船から全員出でもらおうか！」

早くおしー・

民子の怒鳴る声と共に宇宙船の中から数人人が出てきた。

「これだけかい？　

もう、居ないだろ？　ね？」

「はい、これで全員です」

ディレクターが応える。

「あんた、乗り込むわよー・

「おうー・」

「ちょっと離してよー・」

かぐやが叫ぶ。

そして、ついでに鈴木さん夫婦も叫んでみる。

「駄目だ、お前は大事な人質だ！

安全な所までは一緒に居てもらお。

わかったなー・

お前らも勝手な事したら、こいつ殺すぞー・」

全員が無言で答える。

実は、かぐや姫プロジェクト、最終回特別編としてこの番組は生放送だった。

そして、国民が見てるTV画面は途中から綺麗なお花畠の画像で「暫くお待ちください」の文字が流れているがしつかり宇宙警察には伝わっている事は言うまでもない。

源蔵と民子は宇宙船に乗り込み空高く舞い上がって行つた。そして、大気圏を越えた当たりで宇宙船が突然の衝撃を受け、宇宙警察に身柄を拘束されてしまった。

その頃、地球上に取り残された取材陣と鈴木さん夫婦はと言つと、唖然と見送る中、妻は突然の出来事でただ泣き崩れるばかり。夫はどうと、かぐやとの思い出を思い起こそうとして、数時間の会話の内容しか思い出せず後はテレビの画面のかぐやを一方的に見てるだけと言う

何とも惨めな思い出に後悔と悔やみを噛み締めていた。

そして、そんな中、突然現れた宇宙船に誰もがビックリ！

宇宙船から現れたかぐやを見て鼻水たれまくりの母親がかぐやに抱きついてくる姿を見てかぐやは思わず母親をかわし母親はかぐやの後ろに居た

全国アクションゲーム大会3位の実力の持ち主AD大久保君に抱きついてしまい、大久保君もしつかり抱きしめて

「そんなに俺の事を・・・」

しつかり勘違いと妄想を繰り返すのであった。

そんな中かぐやはと「お・・・お父さん？」

「ああ～ そうだよ！」

田にうつすら涙を浮かべるかぐやに父親は両手を開いて抱きしめる

準備OK状態！

そして、かぐやはその胸に飛び込み、その姿は宇宙船の逆光でまぶしいほどシルエットしかカメラには写らないが

全国民が親子の再会に涙を流したその瞬間最高視聴率は58%
番組始まって以来の高視聴率だったと年末の特別番組でかぐやは知る事になる。

END・・・・かな？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4812y/>

かぐやプロジェクト

2011年11月17日18時44分発行